



小川小学校

学校だより

○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子



令和3年12月9日 No.27

《「振り返ること」の大切さについて》

今年度の運動会・学校公開・持久走大会が無事に終了することができました。運動会の練習では、「仲間」と「団結」すること、持久走大会では「努力」を惜みず「最後までやりきることを意識するなど学校行事を通して児童らは大きく成長します。

そして、保護者の皆様が児童のがんばりをしっかり見守り、見届け、応援してくださっていたことが何よりも大きな力になっていると感じています。学校公開にはたくさんの保護者の方が参観いただきありがとうございました。



【各学年の持久走大会の様子】

さて、今年のカレンダーも最後の1枚となります。毎年なのですが、この時期、私は自分なりに今年1年どうだったろうかと「振り返り」をしています。がんばったこと、もう少しだったことを自分なりに整理して考えることで分かってくることがあります。



【縦割り活動の様子】

【学校公開日の授業風景】

「振り返り」は、児童の学習活動においても大切なことです。なぜなら、今日の学習で何を学び、何を理解し、何を考えたのかを自分の言葉にしてまとめることで、学びが深まり、自分のものになるからです。

また、日常生活の中でも「振り返り」を行うことで、起こった出来事を一度脇においてみて、自分や自分に起こった出来事を客観的に見ることができます。「なんであのときはあんなに怒っちゃったのだろう?」「あんなに嬉しかったのはどうしてだろう?」といったように、一歩引いた位置から自分の行動や出来事を振り返ることができるようになります。

起こった事実を確認し、様々な関係性や感情、意見を整理して、次の行動に生かせるようになると課題解決力が育まれます。そして、起きたトラブルを客観的に分析して、原因を探り、次からは同じトラブルが起きないように工夫するようになるということです。

学習活動だけでなく日常生活の中でも「振り返り」の時間を大切にしていけるように学校としても取り組んでいます。そして、児童の成長を認め、褒め、励ますことができるよう努めています。



【体育授業で学習カードに「振り返り」を書く児童】

《東小川小学校との交流学習について》

今年度、東小川小学校との交流学習は2回目となります。令和4年度から東小川小学校の児童が小川小学校に通学してきます。1回目は慣れない環境や人数の多さに戸惑いもありましたが、小川小学校の子供たちが東小川小学校の子供たちにフレンドリーに話しかけてくれたので、少しずつ打ち解けていくことができました。



【3年生の書写の授業（上下の写真）】



【1年生の体育の授業（上下の写真）】



【5年生の外国語の授業（上下の写真）】



《「12月の暗唱」と「人権週間」について》

12月の暗唱も順調に進んでおります。校長が出張した次の日は「今日は校長先生がいる！（いらっしゃる）」という声が廊下から聞こえてきます。児童の暗唱を聞くと元気をもらえます。児童の発達段階を担任が考慮して、全文を細かく区切って校長室に来る児童、すらすらときれいに暗唱する児童と一人一人違ってきます。しかし、合格したときはとてもほっとした顔になります。

さて、12月4日（土）から10日（金）までの1週間は、「人権週間」です。日本では1949年（昭和24年）から定めており、今年は73回目の人権週間となります。

特に12月10日は、日本だけでなく国際連合加盟国では「人権」について考える日「人権デー」になっています。

本校では、友だちの名前を呼ぶ際には「～さん」というように言葉遣い、人権を意識した教育活動を実施しています。言葉は『言霊（ことだま）』と言うように、魂が宿り命があると言われております。その命を大切にしないも、自分自身です。使う言葉は、その人の内面を表します。さわやかで美しい言葉は、その人の美しい心を表現しているのです。

「さん付け」だけでなく、友だちに向かって、先生に向かって、お父さんやお母さん、家族に向かって発する言葉遣いに気を付け、美しい言葉を使える人になってほしいと願っています。言葉は、人を傷つけるためのものではありません。ご家庭でも、子どもたちの言葉遣いに、耳を傾けてみてください。

今、人の痛みを痛みとして感じられない、想像力を欠いた事件が世の中には多すぎます。確かに人の気持ちを想像するのは難しいかもしれませんが、でも、自分の身に置き換えて、自分がされて嫌なこと、自分が言われて悲しいこと、として考えてみれば十分想像できると思います。それに加えて、あなたを大事な人と思ってくれる「誰か」の笑顔を思い浮かべることができるのではないのでしょうか。

「あなたにとって他人でも、みんな誰かの大事な人です」。こらからも、毎年12月は「人権」を尊重することの大切さを確認していきたいと思います。

「ひとつのこぼれ」 北原白秋

一つの言葉でけんかして
一つの言葉で仲直り
一つの言葉で頭が下がり
一つの言葉で心が痛む
一つの言葉で楽しく笑い
一つの言葉で泣かされる
一つの言葉はそれぞれに
一つの心をもっている
きれいな言葉はきれいな心
優しい言葉は優しい心
一つの言葉を大切に
一つの言葉を美しく

【12月の暗唱】

